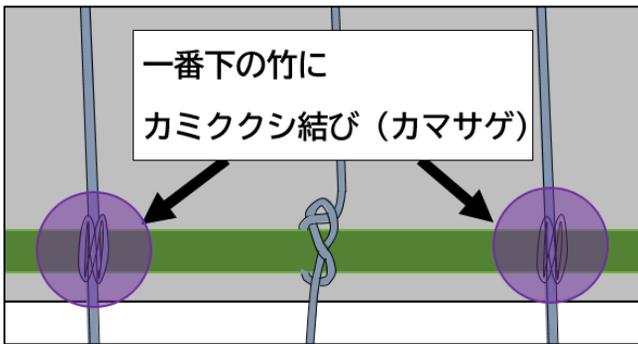


6 シート張り工 (2 / 6)

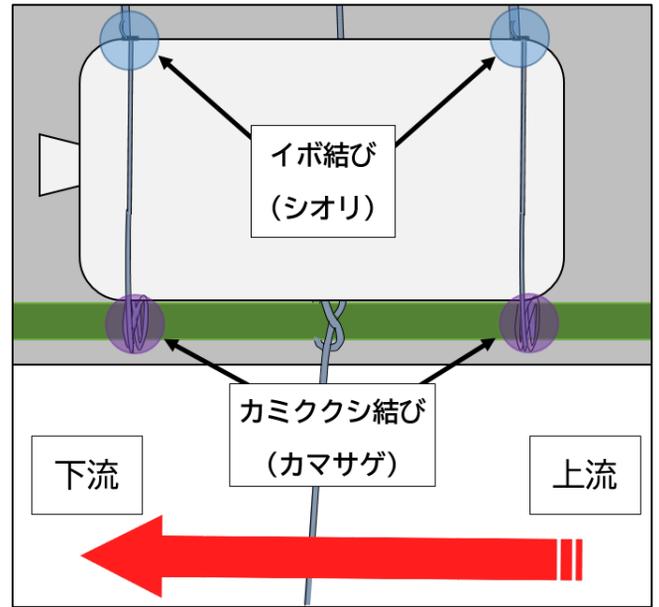
(4) 土のう 1 袋につき、2 本のクレモナロープ (重し土のう用・5 m) を使用する。

まず、一番下の竹に、土のうを乗せずにカミククシ結び (カマサゲ) を行う。

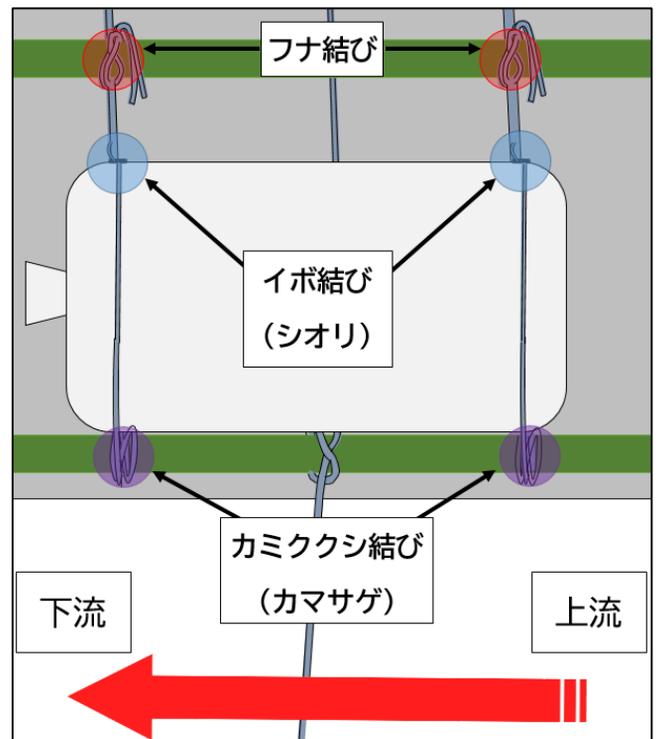


(5) 次に、一番下の竹に土のうを乗せる。土のうのしばり口を下流側に向けて乗せること。

下のロープを上を持ってきて、図のとおり、イボ結び (シオリ) を行う。

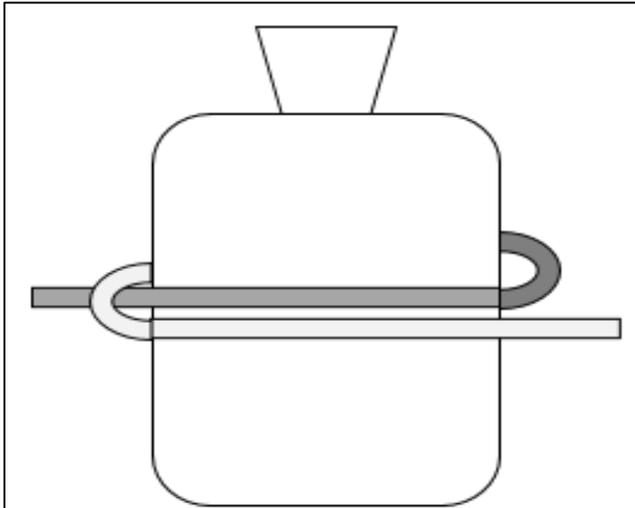


(6) 最後に、上段の竹に、フナ結びを行う。

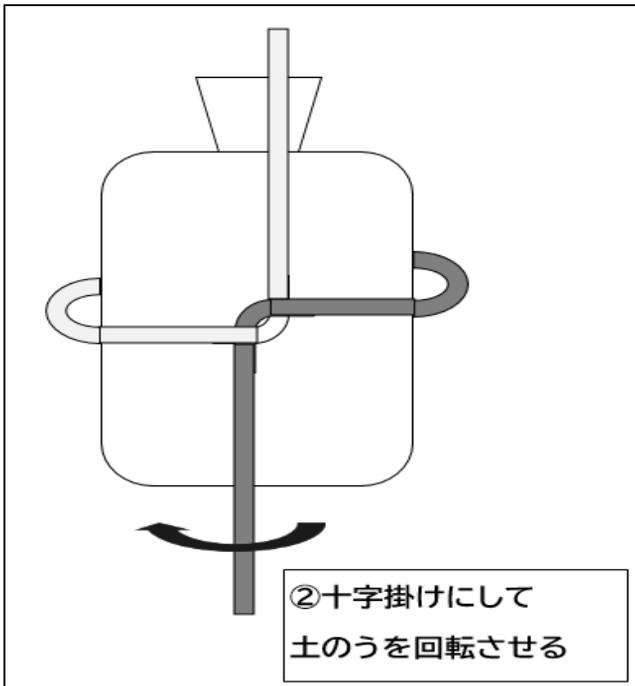


6 シート張り工 (3 / 6)

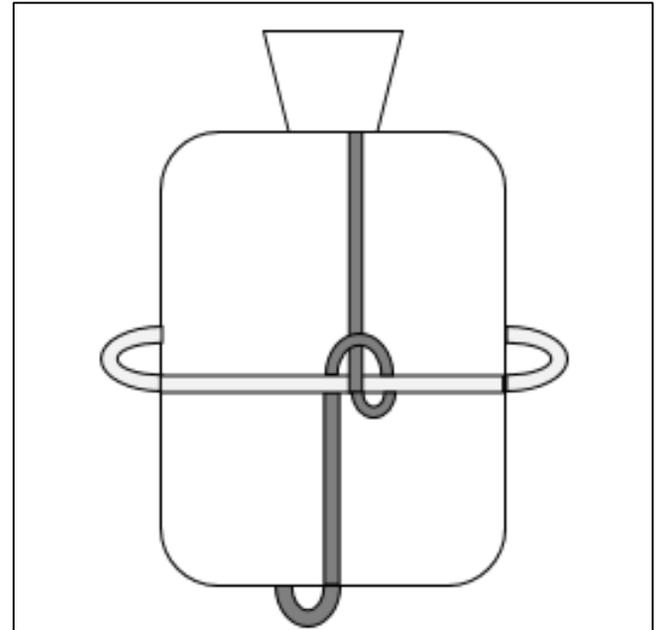
(7) クレモナロープ (あおり止め用・12m) 1本を使用し、あおり止め用土のうを計2袋作成する。



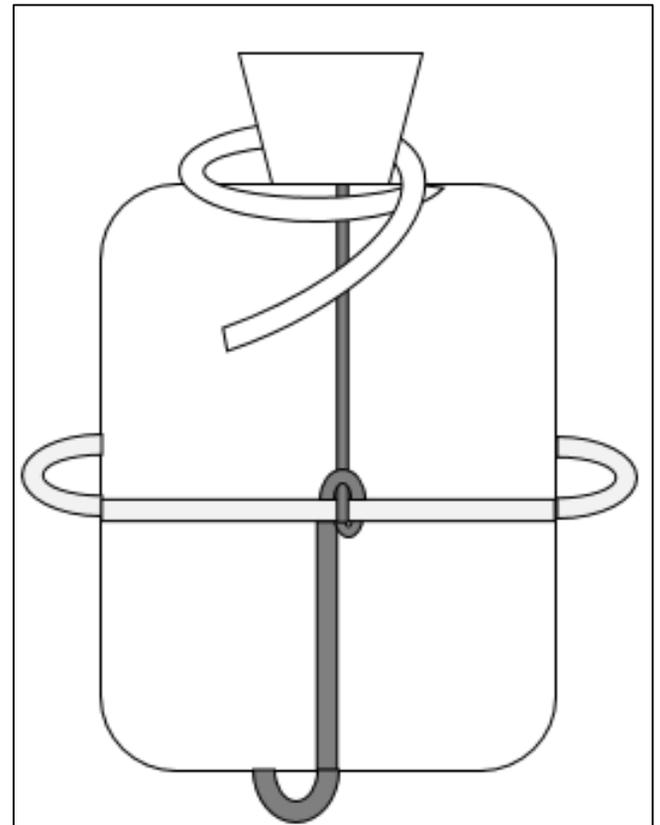
①土のうにクレモナロープ
(あおり止め用・12m ※以下、
「ロープ」) を回す



②十字掛けにして
土のうを回転させる

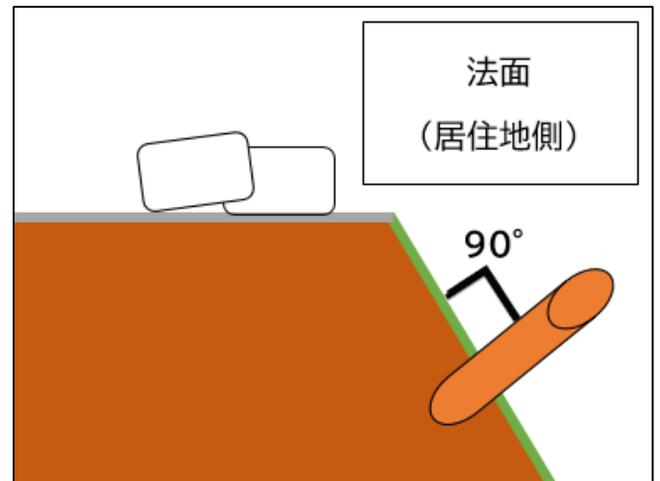
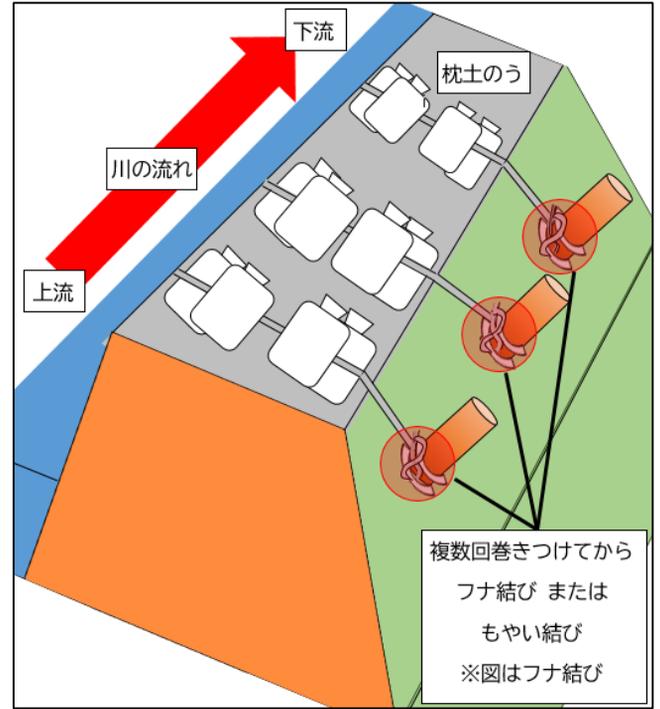
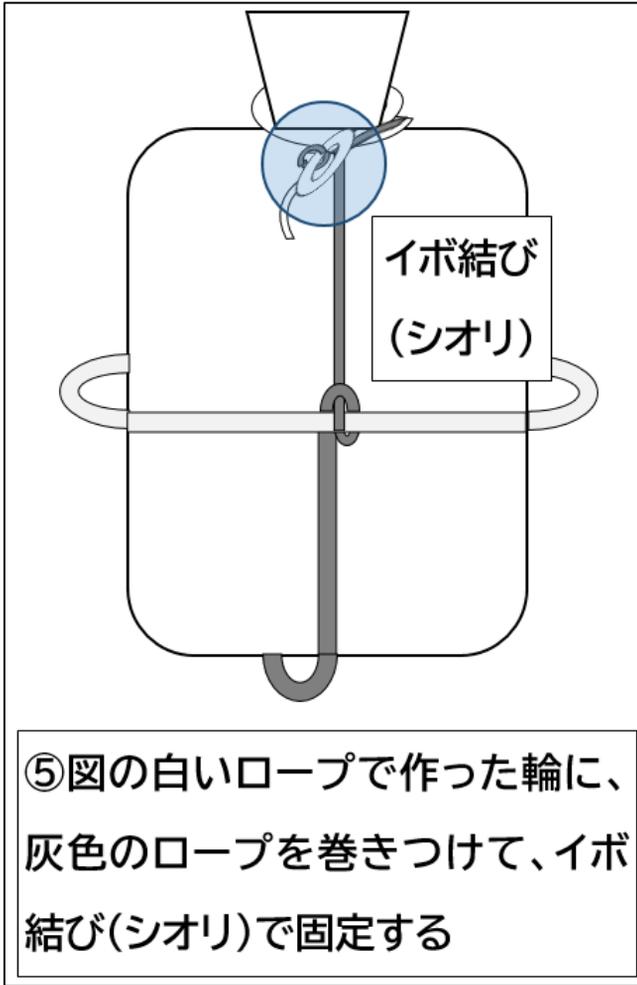


③横締め(図の白い)ロープに、
図の灰色のロープをのの字結びする



④図の白いロープを土のう
のしばり口に1回巻きつける

6 シート張り工 (4 / 6)

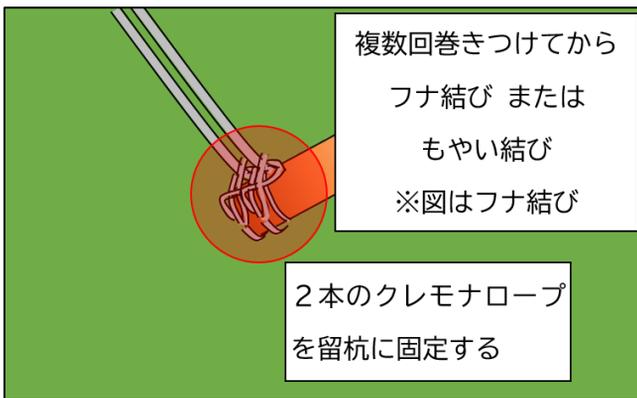


(8) 留杭 (0.9 m) の打ち込みを、堤防の居住地側斜面に3か所行う。

枕土のう 12袋は、堤防の両側の肩にそれぞれ2袋ずつ6か所、土のうのしぼり口を下流側に向けて設置する。

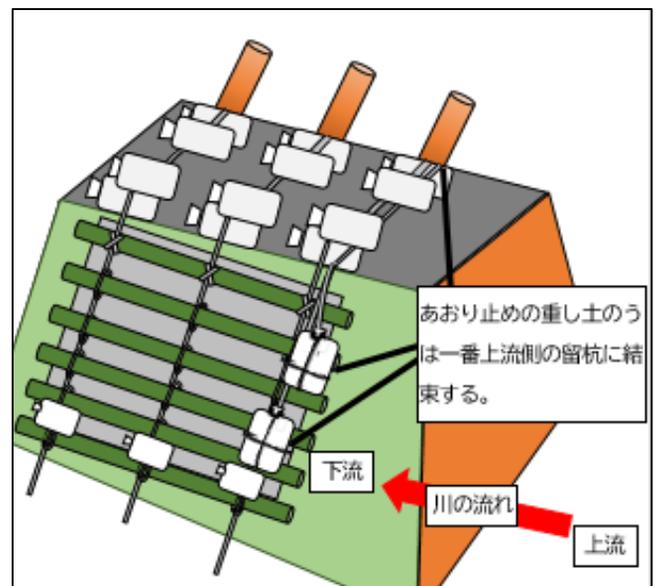
6 シート張り工 (5 / 6)

(9) (7) で作成した、あおり止め用土のうのクレモナロープの先を、一番上流部の留杭に複数回巻きつけてからフナ結びまたはもやい結びで結束する。



(10) 3本の留杭にクレモナロープ (シート張り用・15 m) と重し土のうを付けたロープ1本を複数回巻きつけてからフナ結びまたはもやい結びで3か所結束する。

青ビブスを着用の上、クレモナロープ (命綱用・10 m) を身体にもやい結びで巻き付けたうえで、シートを転がすように投げ込み、最後にあおり止めの重し土のうを上流側に入れる。



6 シート張り工 (6/6)



(参考資料) 資材・器材一覧

6 シート張り工

資材 (1組あたり)					
土のう (線無し)	シート (5 m × 3 m)	竹 (φ60 mm、3.5 m)	留杭 (0.9 m)	藁縄	青ビブス
17袋	1枚	6本	3本	1玉	1着
クレモナロープ (シート張り用・ 1.5 m)	クレモナロープ (重し土のう用・ 5 m)	クレモナロープ (あおり止め用・1 2 m)	クレモナロープ (命綱用・10 m)		
3本	6本	2本	1本		
器材					
掛矢			鎌		
1個			1個		